

今年も有峰でモリアオガエルの卵塊発見！

報告者：霜鳥 智也
編集：田島 敏美

モリアオガエル(学名：*Rhacophorus arboreus*)

【分類】無尾目アオガエル科アオガエル属

【大きさ】成体体長：雄42～60mm、雌59～82mm

【分布】モリアオガエルは日本固有種で、本州と佐渡島に分布しています。有峰では、猪根平や小見線、西岸線の道路沿いの止水升などで卵塊を発見・観察することができます。

【生態】森林内に生息し、山地に多く、樹上性で、日中は葉陰や樹洞内に潜み、夜間に樹上で徘徊性のクモ類や昆虫類を捕食します。繁殖期は4～7月。産卵場所は池や沼、用水、水田などの止水や流れの緩やかな河川に張り出した樹木や竹など。繁殖期以外は森林内に分散しており、発見は困難。

【有峰の状況】

有峰では、例年、6月が繁殖期と考えられています。6月12日(土)今年も、猪根平北陸電力記念館裏の池で、水面上にせり出したヤナギ類やナナカマドの地上1.5mの枝の上に、泡で包まれたモリアオガエルの卵塊を発見しました。昼間、池の中からは、「カラカラ」、「コロコロ」、「クックク」という鳴き声が断片的に聞こえてきます。13日早朝に雨が降ることを本能的に察知していたのか、水面上にせり出したヤナギ類やナナカマドの枝で、10個程度の卵塊が見つかりました。



枝上で静止中のモリアオガエル



枝上で静止中のモリアオガエル



枝上で静止中のモリアオガエル



枝上で静止中のモリアオガエル



枝上で静止中のモリアオガエル



枝上のモリアオガエル



ナナカマドの枝に産み付けられたモリアオガエルの卵塊



モリアオガエルが産卵する池の様子



池に張り出したナナカマドの枝に産み付けられたモリアオガエルの卵塊



池に張り出したナナカマドの枝に産み付けられたモリアオガエルの卵塊